

第 45 回香川県医学検査学会アンケート

この度は「第 45 回香川県医学検査学会」にご参加いただき、まことに有難うございました。新型コロナウイルスの感染拡大のため急遽オンデマンド配信の開催となりましたが、151 名の方にご参加頂きました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと心から感謝しております。つきましては参加者のみなさまから頂いたアンケートの一部を下記に掲載しております。貴重なご意見とし今後の学会運営に反映できるよう努めてまいります。

■ 「一般演題」について、ご質問、ご意見、ご感想

- 血液培養より *Cryptococcus neoformans* が検出された 1 例についての感想。血液培養から検出される真菌は *Candida* spp.であることが多く、*Cryptococcus neoformans* は稀である。クリプトコッカス症とカンジダ症では、抗真菌薬の治療のアプローチが異なるため、早めに臨床側に結果を伝える必要がある。改めて質量分析装置の重要性を感じた。また、グラム染色で酵母様真菌を認めた場合にもクリプトコッカスの可能性も考慮する必要があることを学んだ。
- *Mycobacterium avium* による症例は呼吸器感染ばかりとしか認識がなかったため、皮下組織感染である皮下硬結の原因菌であった症例はとても印象深い発表でした。
- 細菌検査において、グラム染色鏡重要性を改めて認識しました。日常検査かテーマをみつけ、発表している姿勢に感心しました。
- Froin 症候群を呈する場合、細胞数はフィブリンに白血球が付着し低値を示す膠様凝固であるため、悪性リンパ腫等を疑い様々な検査を組み合わせ結果を総合的に判断する必要がある事、そのような疑いがあれば提案提議できるように日々の勉強に努めようと思いました。とても勉強になりました。
- 乳腺顆粒細胞腫について、顆粒細胞腫の細胞像とアポクリン化成細胞像は、背景所見や結合性、顆粒の大きさなどが鑑別点となることが勉強になった。頻度が高くないため推定することが難しいが、細胞学的特徴を抑えて、ルーチン業務に活かしたいと思う。
- 輸血検査部門の演題について、当院では造血幹細胞移植は行っていないが、他院で血液型不適合造血幹細胞移植後の患者さんの血液型検査で判定に苦慮した経験があり、今回の演題発表は大変参考になった。輸血や移植に関する施設間の情報共有のツールが

あればいいと考える。

- 心エコーの血栓の退縮時においてエコー輝度が内部から低エコー像になっていることを知りました。また髄液検査における悪性リンパ腫の診断に細胞診やフローサイトメトリなどさまざまな検査を組み合わせることが大事だと分かりました。

■ 「シンポジウム」について、ご質問、ご意見、ご感想

- 病理検査における精度管理、精度保証病理、細胞診検査は標準化が難しいと業務をしながら常々感じている。そんな中、各工程で精度保証に取り組んでいる他施設の現状は勉強になった。
- 輸血検査では生理食塩水も精度管理に影響を及ぼすことや技師間の手技で一滴量が変わってくること、生理検査でも技師間の手技による差が出ないように定期的に同一被検者での検査を行うなど、高い精度保証のためにご尽力されていることがよく分かりました。
- 自施設ではまだまだ共有試薬や機器の管理、プロトコルの管理を各個人で行っている。精度保障における試薬管理、機器管理、作業手順書の作製はデータの信頼性を担保するためにも大変参考になりました。
- 現在当院では微生物部門で十分な精度管理ができておらず、手探り状態です。大変参考になりました。
- 生理検査部門の品質管理や要員間差はとても難しいと日頃から感じている。特に超音波検査は検査者の経験に左右されることが大きいと、部門内で症例共有を定期的に行うなど可能な範囲で要員が様々な症例を擬似的に経験する機会が大切だと感じた。
- 今回は、病理検査や生理検査、微生物検査などよくある統計学的な精度管理が通用しない分野での発表であり、非常に参考になったと思う。

■この度の学会についてご意見、ご要望、ご感想

- 感染リスクを抑えられる点、繰り返し視聴が出来る点、時間の融通ができる点など、参加する側にはメリットが大きいのと感じた。主催側は準備等、大変だと思うが、感謝している。web での開催だったので、自宅で自分の好きな時に何回でも視聴できてよかった。
- 本来であれば、県内の各施設の技師と顔を合わせて話が出来るといい機会でしたので、来年は現地開催を期待したいです。
- Web は時間にとらわれず参加することができ、また、聞き逃した内容を繰り返し聴けることが大きなメリットだと思いました。
- 今回急遽 Web 開催のみとなったのは致し方ないと思うが、他施設の方との情報共有のため早く Web のみでなく、通常の学会が開催される事を切に願うばかりである
- オンデマンドになり、自分の都合の良い時間に見られることが大変素晴らしく、ありがたかったです。聞き取れなかった部分をもう一度聞くことも出来ました。忙しい中で、勉強の機会を与えて頂き、ありがとうございました。
- 現地開催は必要だが、オンデマンド形式は来年以降も続けていただきたいと思っています。内容の濃い、貴重な検査の情報を web で学習できるため。